

2020年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年8月14日

上場会社名 株式会社ウイルプラスホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3538 URL <https://www.willplus.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 成瀬 隆章
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 柴田 学爾 (TEL) 03-5730-0589
 定時株主総会開催予定日 2020年9月29日 配当支払開始予定日 2020年9月30日
 有価証券報告書提出予定日 2020年9月30日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期の連結業績 (2019年7月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績 (%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期	35,068	17.4	1,160	3.8	1,196	7.3	802	9.9
2019年6月期	29,860	15.9	1,118	△11.4	1,115	△11.2	730	△10.5
(注) 包括利益	2020年6月期 802百万円 (9.9%)		2019年6月期 730百万円 (△10.4%)					

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年6月期	85.32	83.19	13.9	7.6	3.3
2019年6月期	78.36	75.68	14.3	8.6	3.7

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎となる普通株式については、「株式給付信託 (BBT)」の信託財産として資産管理サービス信託銀行株式会社 (信託E口) が所有している当社株式を控除対象の自己株式に含めて算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期	16,645	6,123	36.8	645.24
2019年6月期	14,673	5,421	36.9	580.47
(参考) 自己資本	2020年6月期 6,123百万円		2019年6月期 5,421百万円	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年6月期	1,717	△1,201	594	2,522
2019年6月期	57	△1,881	1,772	1,412

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2019年6月期	—	5.00	—	8.80	13.80	129	17.6	2.5
2020年6月期	—	5.00	—	9.00	14.00	133	16.4	2.3
2021年6月期(予想)	—	5.00	—	8.59	13.59		17.5	

3. 2021年6月期の連結業績予想 (2020年7月1日~2021年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	36,134	3.0	1,180	1.7	1,170	△2.2	737	△8.1	77.68

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年6月期	9,874,560株	2019年6月期	9,724,720株
② 期末自己株式数	2020年6月期	385,052株	2019年6月期	384,986株
③ 期中平均株式数	2020年6月期	9,402,570株	2019年6月期	9,316,396株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年6月期の個別業績（2019年7月1日～2020年6月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期	844	15.6	292	46.2	317	44.1	214	43.6
2019年6月期	730	14.2	200	50.4	220	51.9	149	43.1
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年6月期	22.78		22.21					
2019年6月期	16.01		15.47					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期	6,970	1,486	21.3	156.69
2019年6月期	6,227	1,373	22.1	147.05

(参考) 自己資本 2020年6月期 1,486百万円 2019年6月期 1,373百万円

2. 2021年6月期の個別業績予想（2020年7月1日～2021年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	923	9.4	417	31.2	289	35.1	30.49

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、緩やかに雇用・所得環境の改善が続いたものの、消費税率引き上げ、台風等の自然災害の頻発による消費者マインドの低下、更には新型コロナウイルス感染症の流行による経済活動の停滞等、極めて先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループにおいても第3四半期以後、取扱いブランドの海外生産工場の一時閉鎖や、商品入荷の遅れ、来客数の減少や展示会・販促イベントの中止や延期等の影響を受けており、今後もどのような影響があるのか見通しが難しい状況です。

このような事業環境の下、当連結会計年度におきましては、前連結会計年度に新たに取扱いを開始した「ポルシェ」ブランド、東北地方、中国地方という新たな販売エリアでの事業活動が本格稼働するとともに、2019年11月に当社グループとしては初めての取組として、グループ内で取扱い中の複数ブランドを販売する輸入車中古車専門販売店を福岡県宗像市に新規オープンいたしました。また、MINI、ジャガー・ランドローバー、ポルシェの各ブランド計5店舗の店舗改装又は移転改装を実施し、それぞれリニューアルオープンしております。

車両販売は、JEEPブランドの「ラングラー」等の販売が順調に進み、またボルボやジャガー・ランドローバー、ポルシェ等の各ブランドにおいて、主に高額車両の販売が堅調に進んだ結果、前期比4,390百万円増の28,977百万円となりました。

これまでに引き続き新車販売に注力するとともに、下取りを強化する等の取り組みや、インターネットを通じての販売にも一段と注力するなど中古車販売にも重点を置いてまいりました。その結果、新車売上高は前期比15.1%増、中古車売上高は32.0%増となりました。

車両売上高の増加に伴い、ストック型ビジネスである車両整備や保険手数料収入も前期比増となり、連結売上高は前期比17.4%増の35,068百万円となりました。

原価率の高い車両売上割合が増加したこと等により、売上原価も増加したものの、売上総利益は前期比13.4%増の6,835百万円となりました。

一方で、売上高増加に伴う販売関連費用、店舗及び人員の増加に伴い、人件費や店舗運営のための費用等が増加し、さらに取扱いブランドの増加と車種の多様化に伴うデモカーの増加、また、主に前連結会計年度に取得した店舗設備の償却費等により減価償却費が増加いたしました。これらの要因により販売費及び一般管理費は前期比15.6%増の5,675百万円となりました。

この結果、営業利益は前期比3.8%増の1,160百万円、経常利益は前期比7.3%増の1,196百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比9.9%増の802百万円となりました。

当社グループは輸入車販売関連事業の単一セグメントであります。商品品目別の販売実績は以下のとおりとなります。

商品の名称	販売高 (百万円)	前期比 (%)
新車	17,758	115.1
中古車	7,873	132.0
業販	3,345	104.8
車両小計	28,977	117.9
車両整備	4,425	114.4
その他	1,665	118.6
合計	35,068	117.4

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況は、以下のとおりであります。

(資産)

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、1,971百万円増加し、16,645百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ、1,021百万円増加し、9,269百万円となりました。これは、借入金増加により現金及び預金が1,109百万円増加、業容の拡大等により商品が153百万円が増加した一方で、インセンティブ収入の回収により未収入金が73百万円減少、未収消費税等の減少等によりその他流動資産が77百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ950百万円増加し、7,376百万円となりました。これは、事業譲受けに伴うのれんの償却によりのれんが73百万円減少したものの、移転やCI変更による店舗改装等に伴う新規店舗設備の取得により有形固定資産が969百万円増加、店舗移転に伴う敷金及び保証金が55百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,768百万円増加し、9,261百万円となりました。これは、短期借入金が1,300百万円増加、業容の拡大等により買掛金が549百万円増加、未払消費税等が135百万円増加した一方で、前連結会計年度の受注車輛の納車が順調に進んだことにより前受金が119百万円減少、1年内返済予定の長期借入金が約定返済により55百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ498百万円減少し、1,261百万円となりました。これは、店舗設備等の取得に伴う資産除去債務が39百万円増加した一方で、長期借入金が548百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ、701百万円増加し、6,123百万円となりました。これは、新株予約権の権利行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ14百万円増加したこと、また、配当金支払が130百万円あったものの、親会社株主に帰属する当期純利益が802百万円あったこと等により利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より1,109百万円（前期比78.6%）増加し、2,522百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、1,717百万円（前連結会計年度は57百万円の獲得）となりました。これは、税引等調整前当期純利益が1,206百万円、減価償却費が1,073百万円、のれんの償却額が73百万円、売上債権の減少が144百万円、仕入債務の増加が570百万円等の資金増加要因があった一方で、たな卸資産の増加が952百万円、法人税等の支払額が418百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1,201百万円（前連結会計年度は1,881百万円の使用）となりました。これは主に、移転やCI変更による店舗改装に伴う固定資産の取得による支出が1,136百万円、店舗移転等による敷金及び保証金の支出が76百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は594百万円（前連結会計年度は1,772百万円の獲得）となりました。これは、短期借入による収入が1,300百万円、新株予約権権利行使による収入が29百万円あった一方で、長期借入金の返済が603百万円、配当金の支払額が130百万円あったこと等によるものであります。

(4) 今後の見通し

新型コロナウイルスの感染再拡大により国内外の経済活動、個人消費を含む景気の不透明感は一層強まっております。このような状況の下、当社グループの業績に対する今後の影響については合理的に算定することは困難であります。2020年春頃の状況と同程度の影響が少なくとも2020年度中は継続するという一定の仮定に基づき、業績予想を策定しております。

当社グループは、「我々は輸入車のある生活を提案し、より多くの皆様と豊かさ・楽しさ・喜びを分かち合い、関わる全ての人々を温かい笑顔に変えていく挑戦を続ける」という企業理念のもとで引き続き活動してまいります。当社の基本的な成長戦略である「マルチブランド戦略」「ドミナント戦略」「M&A戦略」を引き続き推進する一方で、翌連結会計年度におきましては、この変革期の中でも競争に勝ち抜き、継続して成長を続けるための経営基

盤を更に強固なものにするために、商品回転率を高め、資本効率のよい経営を目指します。また、これまでよりもより厳しい目で投資の可否を判断すること等により、経営資源を最大限に有効活用することに努めてまいります。各店舗におきましては、ニューモデルを中心に新車販売に注力するとともに、中古車販売にも同様に力を入れてまいります。お客様との接点を大事にし、車輛販売後のアフターサービスを充実させ、車輛整備や保険といったストック型ビジネスの拡充に繋げ、収益力の向上に努めてまいります。

翌連結会計年度におきましては、売上高36,134百万円（前期比103.0%）、営業利益1,180百万円（前期比101.7%）、経常利益1,170百万円（前期比97.8%）、親会社株主に帰属する当期純利益737百万円（前期比91.9%）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの業務は現在日本国内に限定されており、海外での活動がないことから、当面は日本基準を採用することとしております。IFRS（国際財務報告基準）の適用については、外国人株主比率の推移や国内の動向等を注視し、適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当連結会計年度 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,412,488	2,522,127
売掛金	217,172	177,900
商品	5,338,501	5,492,447
仕掛品	155,527	134,001
原材料及び貯蔵品	257,145	227,087
未収入金	544,105	470,162
その他	323,024	245,480
流動資産合計	8,247,965	9,269,207
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,167,672	4,085,020
減価償却累計額	△621,542	△771,827
建物及び構築物(純額)	2,546,130	3,313,193
機械装置及び運搬具	2,095,256	2,264,464
減価償却累計額	△347,142	△420,943
機械装置及び運搬具(純額)	1,748,113	1,843,521
工具、器具及び備品	381,985	499,321
減価償却累計額	△208,593	△261,967
工具、器具及び備品(純額)	173,391	237,354
土地	720,069	720,069
その他	7,222	7,222
減価償却累計額	△4,012	△5,216
その他(純額)	3,209	2,006
建設仮勘定	37,674	81,489
有形固定資産合計	5,228,589	6,197,634
無形固定資産		
のれん	378,064	304,505
その他	50,389	38,166
無形固定資産合計	428,454	342,671
投資その他の資産		
敷金及び保証金	391,093	446,713
繰延税金資産	310,536	307,335
その他	67,205	81,759
投資その他の資産合計	768,835	835,808
固定資産合計	6,425,878	7,376,115
資産合計	14,673,844	16,645,323

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当連結会計年度 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,532,372	3,081,688
短期借入金	2,400,000	3,700,000
1年内返済予定の長期借入金	586,880	531,380
未払金	416,087	393,978
未払法人税等	203,284	205,804
未払消費税等	70,124	205,595
前受金	1,066,835	947,134
賞与引当金	46,520	41,848
資産除去債務	980	165
その他	169,336	153,524
流動負債合計	7,492,420	9,261,118
固定負債		
長期借入金	1,442,910	894,831
役員株式給付引当金	24,654	35,861
資産除去債務	255,244	295,244
その他	37,147	35,220
固定負債合計	1,759,957	1,261,157
負債合計	9,252,377	10,522,275
純資産の部		
株主資本		
資本金	203,319	218,000
資本剰余金	1,136,857	1,151,538
利益剰余金	4,215,168	4,887,433
自己株式	△133,877	△133,925
株主資本合計	5,421,467	6,123,047
純資産合計	5,421,467	6,123,047
負債純資産合計	14,673,844	16,645,323

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
売上高	29,860,088	35,068,288
売上原価	23,831,903	28,232,291
売上総利益	6,028,184	6,835,997
販売費及び一般管理費	4,909,944	5,675,231
営業利益	1,118,240	1,160,765
営業外収益		
受取利息	346	884
受取保険金	1,799	5,068
受取支援金収入	6,884	43,436
その他	3,568	5,234
営業外収益合計	12,599	54,623
営業外費用		
支払利息	14,895	18,018
その他	859	690
営業外費用合計	15,754	18,708
経常利益	1,115,085	1,196,679
特別利益		
固定資産売却益	—	17,093
特別利益合計	—	17,093
特別損失		
固定資産除却損	3,013	6,543
減損損失	—	788
特別損失合計	3,013	7,331
税金等調整前当期純利益	1,112,072	1,206,441
法人税、住民税及び事業税	439,555	400,969
法人税等調整額	△57,520	3,200
法人税等合計	382,035	404,170
当期純利益	730,036	802,271
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	730,036	802,271

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
当期純利益	730,036	802,271
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	225	—
その他の包括利益合計	225	—
包括利益	730,261	802,271
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	730,261	802,271
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	その他の包括 利益 累計額合計	
当期首残高	193,149	1,126,687	3,608,756	△134,936	4,793,656	△225	△225	4,793,431
当期変動額								
新株の発行	10,170	10,170			20,340			20,340
親会社株主に帰属する 当期純利益			730,036		730,036			730,036
剰余金の配当			△123,624		△123,624			△123,624
自己株式の処分				1,120	1,120			1,120
自己株式の取得				△62	△62			△62
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						225	225	225
当期変動額合計	10,170	10,170	606,411	1,058	627,810	225	225	628,036
当期末残高	203,319	1,136,857	4,215,168	△133,877	5,421,467	—	—	5,421,467

当連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	その他の包括 利益 累計額合計	
当期首残高	203,319	1,136,857	4,215,168	△133,877	5,421,467	—	—	5,421,467
当期変動額								
新株の発行	14,681	14,681			29,362			29,362
親会社株主に帰属する 当期純利益			802,271		802,271			802,271
剰余金の配当			△130,006		△130,006			△130,006
自己株式の処分					—			—
自己株式の取得				△47	△47			△47
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						—	—	—
当期変動額合計	14,681	14,681	672,264	△47	701,579	—	—	701,579
当期末残高	218,000	1,151,538	4,887,433	△133,925	6,123,047	—	—	6,123,047

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,112,072	1,206,441
減価償却費	828,802	1,073,425
減損損失	—	788
のれん償却額	66,094	73,559
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,364	△4,672
受取利息及び受取配当金	△346	△884
支払利息	14,895	18,018
為替差損益(△は益)	234	—
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△17,093
有形固定資産除却損	3,013	6,543
売上債権の増減額(△は増加)	△182,393	144,780
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,860,464	△952,786
仕入債務の増減額(△は減少)	365,398	570,032
その他	220,720	35,059
小計	575,390	2,153,213
利息及び配当金の受取額	346	884
利息の支払額	△15,249	△18,164
法人税等の支払額	△503,461	△418,676
営業活動によるキャッシュ・フロー	57,026	1,717,255
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△982,601	△1,136,694
有形固定資産の売却による収入	—	17,093
無形固定資産の取得による支出	△4,572	△8,970
敷金及び保証金の回収による収入	38,393	12,418
敷金及び保証金の差入による支出	△91,178	△76,489
事業譲受による支出	△838,391	—
その他	△2,883	△9,304
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,881,233	△1,201,947
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,500,000	1,300,000
長期借入れによる収入	1,000,000	—
長期借入金の返済による支出	△623,152	△603,579
リース債務の返済による支出	△609	△1,360
新株予約権の行使による株式の発行による収入	20,340	29,362
自己株式の取得による支出	△62	△47
配当金の支払額	△123,652	△130,044
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,772,864	594,330
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△51,342	1,109,639
現金及び現金同等物の期首残高	1,463,831	1,412,488
現金及び現金同等物の期末残高	1,412,488	2,522,127

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社グループは、輸入車販売関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり純資産額	580.47円	645.24円
1株当たり当期純利益金額	78.36円	85.32円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	75.68円	83.19円

- (注) 1. 株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式は、1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めており、また1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております。1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、前連結会計年度70,684株、当連結会計年度は70,200株であります。1株当たり純資産額の算定上、控除した自己株式は前連結会計年度70,200株、当連結会計年度末株式数は70,200株であります。
2. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	730,036	802,271
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	730,036	802,271
普通株式の期中平均株式数(株)	9,316,396	9,402,570
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	330,404	241,372
(うち新株予約権(株))	(330,404)	(241,372)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—